水道事業ビジョン　フォローアップ

平成30年度	フォローアップNo	1	主要施策①アセットマネジメントの実践		
			①　管路更新計画		
			１）基幹管路更新計画	担当係	計画係

計画目標　１－１０１－１

清山配水池に連結する基幹管路を耐震化することによって送・配水を確実なものとし、災害に対して強靭な管路施設を構築します。

具体的な取組み

対策を必要とする基幹管路のなかで、特に重要な以下の管路を最優先で更新します。
・林浄水場と清山配水池を繋ぐ送水管450mmを耐震管に更新します。
・清山南側配水本管（西部・東部）の耐震化・再配置を行い、維持管理の容易な配水システムを構築します。

具体的な取組み	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
①　清山送水管の更新	事前協議	基本設計	検討･実施設計		施工					
②　清山南側配水本管の更新						事前協議	基本設計	検討･実施設計		施工

平成30年度達成率の評価（上段：当該施策の当年度の目標達成率　下段：当年度の達成率）

	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%	
取組み①		基本設計に必要な条件設定を協議し、必要項目の抽出を行った。
取組み②		

水道事業ビジョン　フォローアップ

平成30年度	フォローアップNo	2	主要施策①アセットマネジメントの実践		
			①　管路更新計画		
			２）管路耐震化計画	担当係	計画係

計画目標　１－１０２－１

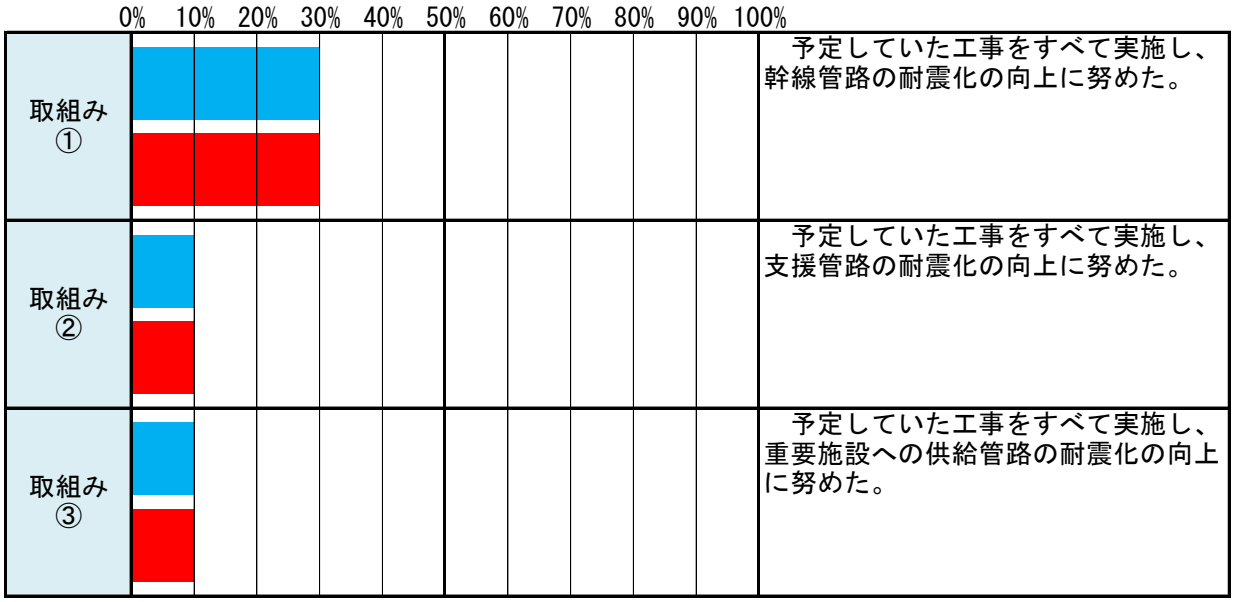
重要度の高い管路を耐震管で整備し、耐震性能を向上させ災害時の被害縮小に努めます。

具体的な取組み

・基幹管路、幹線管路、支援管路を耐震管で整備し、レベル１地震動に対応できる管網を構築します。
・病院等の重要施設に連結する供給管路の耐震化を優先的に実施します。

具体的な取組み	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
①　幹線管路の耐震化	施工									
②　支援管路の耐震化	施工									
③　重要施設への供給管路の耐震化	協議・調整								施工	

平成30年度達成率の評価（上段：当該施策の当年度の目標達成率　下段：当年度の達成率）



水道事業ビジョン　フォローアップ

平成30年度	フォローアップNo	3	主要施策①アセットマネジメントの実践		
			①　管路更新計画		
			３）老朽管更新計画	担当係	計画係

計画目標　１－１０３－１

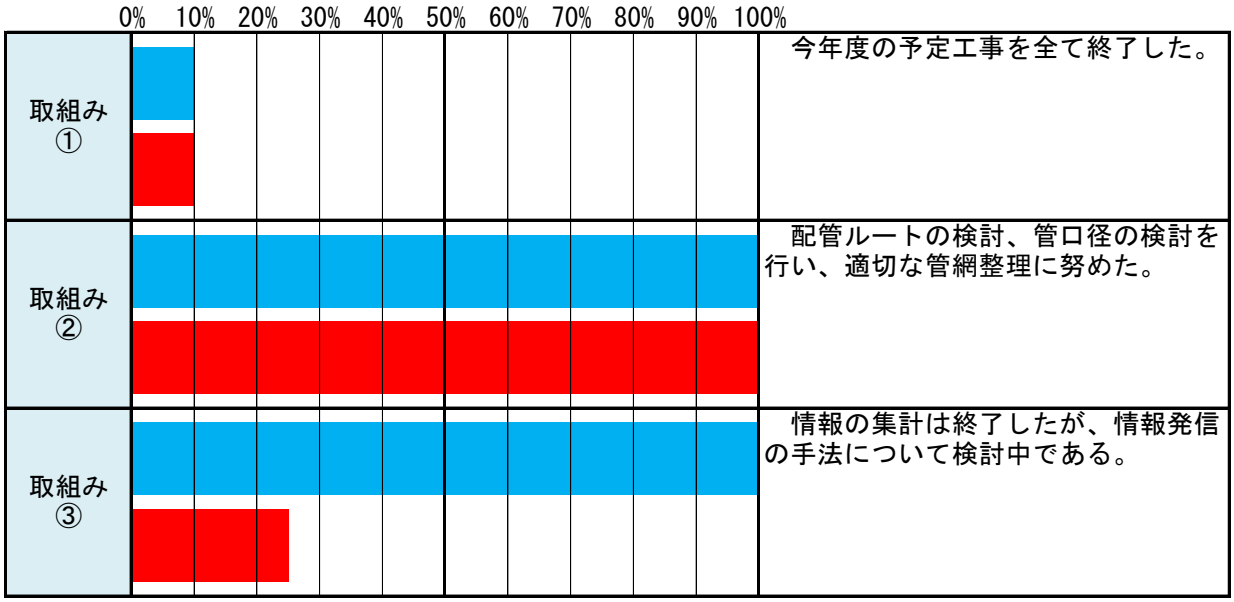
ミクロマネジメント（日常的な維持管理による診断評価）の情報を基に、影響度の高い管路を抽出し、老朽管を更新します。

具体的な取組み

・管路の持つ影響力、鉛管使用管路、維持管理困難管路、維持管理限界管路を優先し、更新を順次実施します。
・管路の統廃合及びダウンサイジングを行い、維持管理のバランスを考慮した効率的な管網の整備を行います。

具体的な取組み	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
①　影響度の高い管路の更新	施工									
②　管路の統合・ダウンサイジング	管網整備検討									
③　管路情報の情報発信	取組みの継続									

平成30年度達成率の評価（上段：当該施策の当年度の目標達成率　下段：当年度の達成率）



今年度の予定工事を全て終了した。

配管ルートの検討、管口径の検討を行い、適切な管網整理に努めた。

情報の集計は終了したが、情報発信の手法について検討中である。

水道事業ビジョン　フォローアップ

平成30年度	フォローアップNo	4	主要施策①アセットマネジメントの実践		
			②　浄水施設等整備計画		
			１）浄水施設等更新計画	担当係	浄水係

計画目標　１－２０１－１

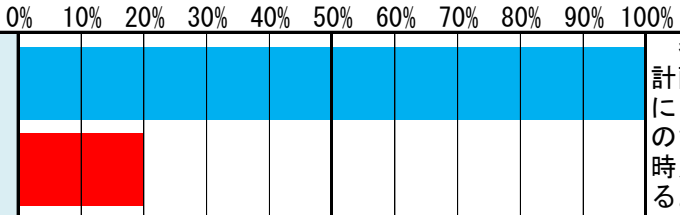
過去の事故履歴、経年度、重要度等を基に更新の優先順位を明確にし、経済性と安全性を両立した更新計画を策定します。

具体的な取組み

既存施設に関する明確な修繕・補修計画を策定し、水需要に応じた適切な施設能力・規模への更新を行います。

具体的な取組み	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
①　既存施設の修繕・補修計画の策定	策定	計画の見直し･更新								
②　浄水施設等更新計画の策定	台帳整備	計画策定	計画の見直し･更新							

平成30年度達成率の評価（上段：当該施策の当年度の目標達成率　下段：当年度の達成率）



取組み①		各施設ごとの修繕周期を定め、年次計画を作成したが、今年度の豪雨災害により、修繕計画の変更が生じた。そのため、修繕基準の作成に至らず、現時点では、計画が不完全なものである。
取組み②		各施設・設備の基本情報の収集が中心となり、図面・仕様書等は未だ散乱した状態である。本年度は、各施設・設備の詳細情報入力フォーマットを作成し、現時点での情報整理を行なうことに留まった。

水道事業ビジョン　フォローアップ

平成30年度	フォローアップNo	5	主要施策①アセットマネジメントの実践		
			②　浄水施設等整備計画		
			１）浄水施設等更新計画	担当係	浄水係

計画目標　１－２０１－２

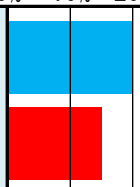
将来の水需要に応じた確実な水量を確保できる取水施設の維持・向上を検討します。

具体的な取組み

水質の安全性、取水の安定性を維持するための地下水脈調査を実施します。

具体的な取組み	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
①　地下水脈調査の実施	検討	分析	方向性決							

平成30年度達成率の評価（上段：当該施策の当年度の目標達成率　下段：当年度の達成率）

	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%	
取組み①		既存水源（伏流水）の代替、または新規水源の検討の第１段階として、林浄水場内での地下水源の調査業務を行なうこととした。

水道事業ビジョン　フォローアップ

平成30年度	フォローアップNo	6	主要施策①アセットマネジメントの実践		
			②　浄水施設等整備計画		
			２）浄水施設等耐震化計画	担当係	浄水係

計画目標　１－２０２－１

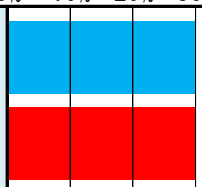
耐震性が十分でない施設、経年劣化している施設の抽出を行い、更新・補強計画を策定します。

具体的な取組み

耐震性や経年度による水道施設の評価や簡易診断を行い、耐震状況を確認し更新計画に反映させます。

具体的な取組み	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
①　浄水施設等耐震化計画の策定	検討	評価・分		策定	見直し・更新					

平成30年度達成率の評価（上段：当該施策の当年度の目標達成率　下段：当年度の達成率）

	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%	
取組み①		月例点検簿を作成し、建物及び池状構造物の劣化状況を確認できる体制を整えた。

水道事業ビジョン　フォローアップ

平成30年度	フォローアップNo	7	主要施策①アセットマネジメントの実践		
			③　維持管理計画		
			１）維持管理計画（管路）	担当係	管理係

計画目標　１－３０１－１

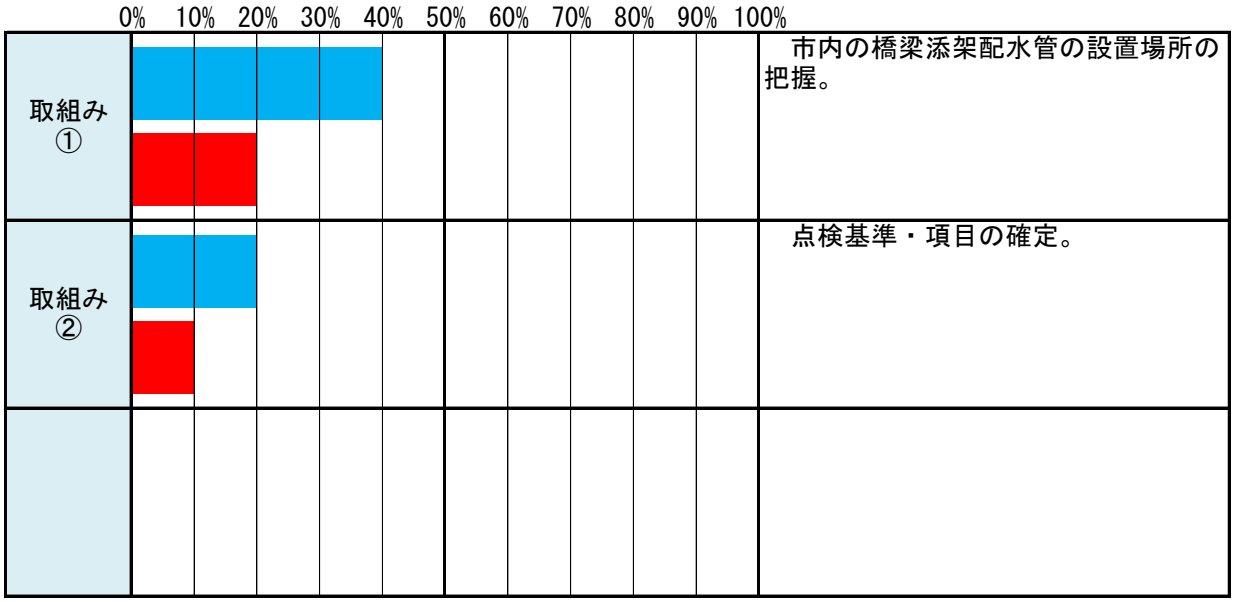
健全性が要求される水管橋や橋梁添架管、弁栓類などについて、予防保全の観点からこれらの点検・整備を充実させ、継続的な状態監視体制を確立します。

具体的な取組み

・水管橋等の施設台帳を作成し、定期的な点検・記録を行うことにより、定量的に健全度を把握することが可能なシステムを構築します。
・管路付属設備である仕切弁や空気弁・ドレン弁等の維持管理方針を確立し、常時確実に操作可能な状態とするための定期的なメンテナンスを実施します。

具体的な取組み	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
① 水管橋等の管理体制の構築	台帳作成･調査			評価		管理体制の構築				
② 市内弁栓類の点検体制の構築	準備	台帳作成		調査方法の確立		調査の実施･管理体制の確立				

平成30年度達成率の評価（上段：当該施策の当年度の目標達成率　下段：当年度の達成率）



水道事業ビジョン　フォローアップ

平成30年度	フォローアップNo	8	主要施策①アセットマネジメントの実践		
			③　維持管理計画		
			１）維持管理計画（管路）	担当係	管理係

計画目標　１－３０１－２

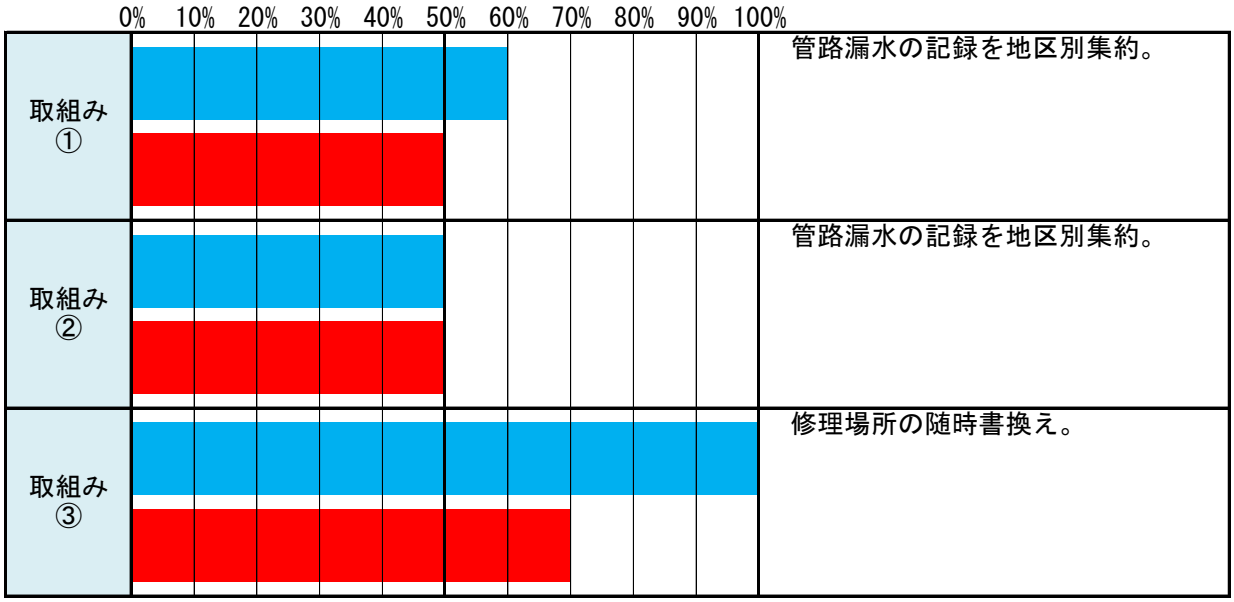
管路破損時の迅速な対応を目的とした取組みとして、管路の漏水事故記録を充実させるとともに、管路情報システム（マッピングシステム）の精度向上を図ります。

具体的な取組み

漏水修理時や他工事の水道管埋設確認立会等の機会を最大限に生かし、既設管の埋設状況や詳細な布設位置・深さ等の管路情報の収集を充実させ、マッピングシステムへ反映させることにより精度向上を図り、迅速な修繕対応体制を構築します。

具体的な取組み	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
① 管路漏水事故記録簿の充実	情報収集		取組みの継続							
② 事後保全体制の充実	事故再発防止のための情報共有									
③ マッピングシステムへの即時反映	取組みの継続									

平成30年度達成率の評価（上段：当該施策の当年度の目標達成率　下段：当年度の達成率）



水道事業ビジョン　フォローアップ

平成30年度	フォローアップNo	9	主要施策①アセットマネジメントの実践		
			③　維持管理計画		
			２）維持管理計画（浄水施設等）	担当係	浄水係

計画目標　１－３０２－１

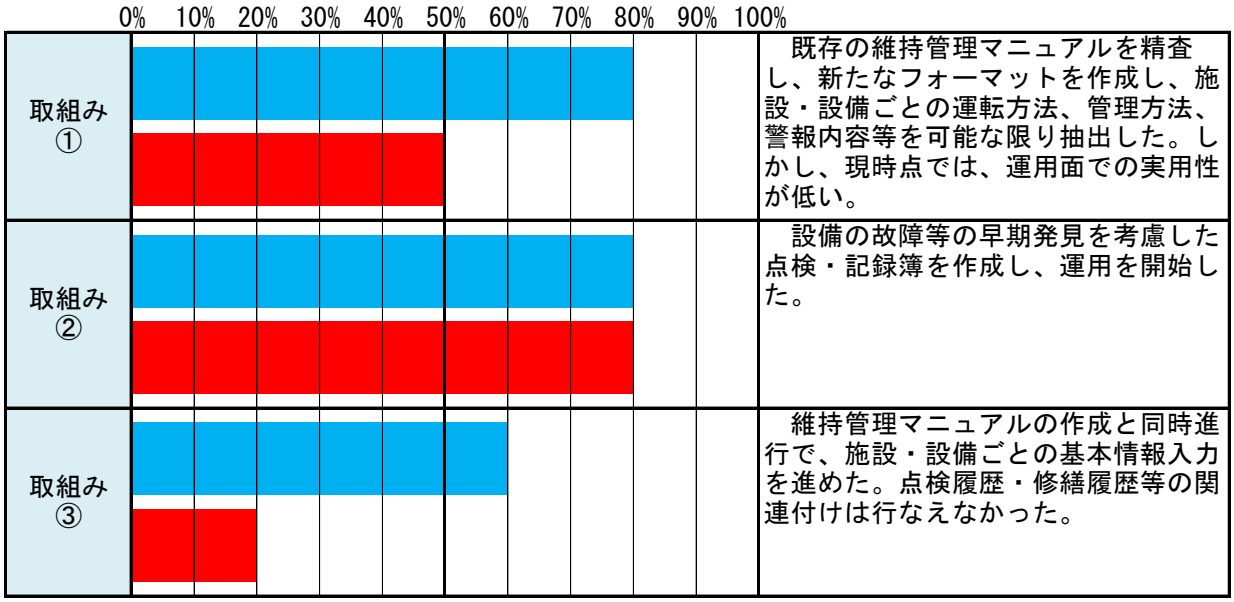
運転操作、監視・点検等を確実に実施できる既存のマニュアルの見直し及び再整備を行い、事故・修繕等の記録簿を統合した管理システムの構築を行います。

具体的な取組み

・通常時・非常時の運転・監視・点検に加え、軽微な故障・修繕等の維持管理を職員が行えるマニュアルを充実させます。
・蓄積した記録が施設台帳や各種マニュアルなどと有機的に反映される仕組みを構築し、記録の管理については記録基準を定めて管理します。

具体的な取組み	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
① 維持管理マニュアルの再整備	策定	運用･更新								
② 事故・修繕・点検等の記録簿の充実化	記録簿作	記録方法に従った業務の実								
③ 浄水施設台帳の作成	図面等整	台帳作成	更新							

平成30年度達成率の評価（上段：当該施策の当年度の目標達成率　下段：当年度の達成率）



取組み①	既存の維持管理マニュアルを精査し、新たなフォーマットを作成し、施設・設備ごとの運転方法、管理方法、警報内容等を可能な限り抽出した。しかし、現時点では、運用面での実用性が低い。
取組み②	設備の故障等の早期発見を考慮した点検・記録簿を作成し、運用を開始した。
取組み③	維持管理マニュアルの作成と同時進行で、施設・設備ごとの基本情報入力を進めた。点検履歴・修繕履歴等の関連付けは行なえなかった。

水道事業ビジョン　フォローアップ

平成30年度	フォローアップNo	10	主要施策②災害等対応計画の作成		
			⑤　災害等予防保全計画		
			１）ソフト面での取組み	担当係	浄水係

計画目標　２－５０１－１

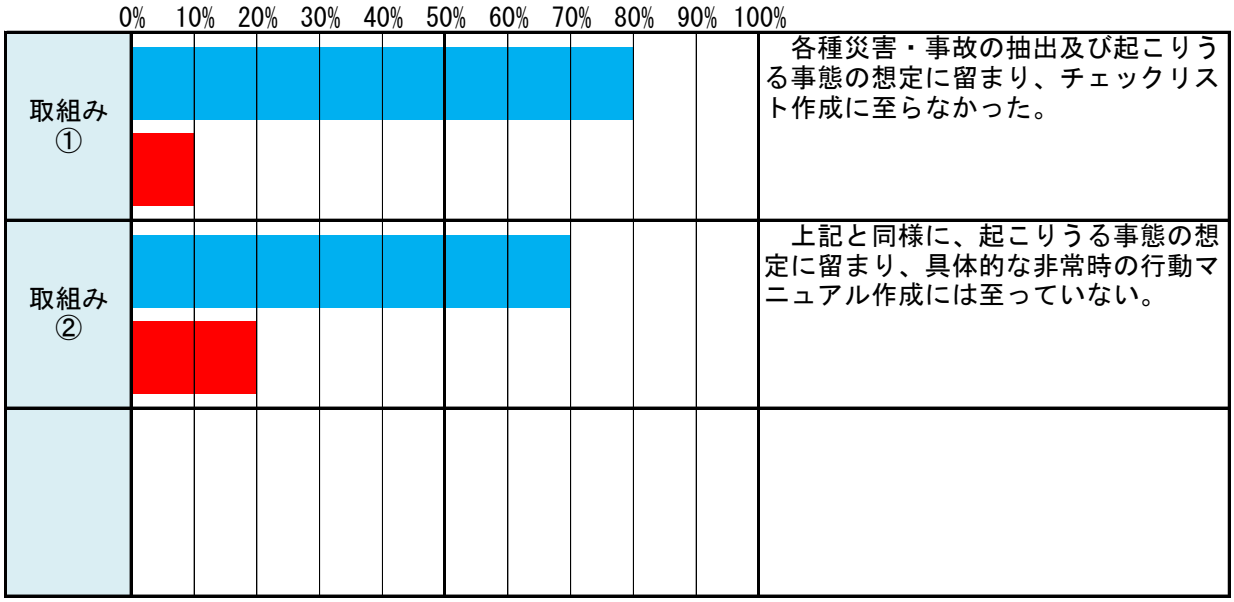
林浄水場での災害・事故時に備えた機器操作や行動マニュアルを見直し、非常時における職員対応レベルの向上を図ります。

具体的な取組み

林浄水場の中央制御機能が停止したことを想定した定期的な訓練計画を策定し、緊急時・非常時の取組みを維持管理計画に反映させます。

具体的な取組み	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
①　予防保全チェックリストの作成	リスト作	確認・更新								
②　定期的訓練の実施	方法決定	訓練の実施・検証								

平成30年度達成率の評価（上段：当該施策の当年度の目標達成率　下段：当年度の達成率）



取組み①	各種災害・事故の抽出及び起こりうる事態の想定に留まり、チェックリスト作成に至らなかった。
取組み②	上記と同様に、起こりうる事態の想定に留まり、具体的な非常時の行動マニュアル作成には至っていない。

水道事業ビジョン　フォローアップ

平成30年度	フォローアップNo	11	主要施策②災害等対応計画の作成		
			⑤　災害等予防保全計画		
			１）ソフト面での取組み	担当係	ﾋﾞｼﾞｮﾝ係

計画目標　２－５０１－２

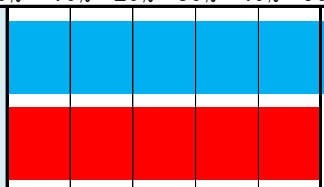
職員内部研修会を継続して実施し、水道職員としての知識と意識を高めます。

具体的な取組み

職員内部研修会をより災害対策へシフトさせることにより、職員の災害対応能力向上を目指し、段階的にスキルアップを図ることが可能な体制を構築します。

具体的な取組み	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
①　内部研修会の開催	計画策定	計画の実施・更新								

平成30年度達成率の評価（上段：当該施策の当年度の目標達成率　下段：当年度の達成率）

	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%	
取組み①		今後の内部研修会のあり方について検討し、骨子をまとめた実施計画を策定した。開催回数については、予定していたものに及ばなかったため、目標達成には至らなかった。

水道事業ビジョン　フォローアップ

平成30年度	フォローアップNo	12	主要施策②災害等対応計画の作成		
			⑤　災害等予防保全計画		
			１）ソフト面での取組み	担当係	庶務係

計画目標　２－５０１－３

非常時においても一定の業務レベルを維持し、早期に水道サービスを通常レベルまで復旧します。

具体的な取組み

事業継続計画（ＢＣＰ）を策定し、あらゆるリスクに備えた万全の体制構築を目指します。

具体的な取組み	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
①　事業継続計画の策定	検討	集約	策定	見直し・反映						

平成30年度達成率の評価（上段：当該施策の当年度の目標達成率　下段：当年度の達成率）

	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%	
取組み①		今年度は以前行った業務洗い出しの内容整理と、既存マニュアルの確認を実施した。現在の業務状況と洗い出した情報の整理をする必要があるため、業務中断リスクの検討には取り掛かれていない。

水道事業ビジョン　フォローアップ

平成30年度	フォローアップNo	13	主要施策②災害等対応計画の作成		
			⑤　災害等予防保全計画		
			２）ハード面での取組み	担当係	浄水係

計画目標　２－５０２－１

林浄水場の各施設状況の把握・整理を行い、災害や事故時でも浄水施設の機能を停止させないバックアップ体制を構築します。

具体的な取組み

地震等による施設の破損リスクやその他の事故リスクを洗い出し、必要な措置を講じるための予防保全計画を策定します。

具体的な取組み	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
①　予防保全計画の策定	策定	見直し･更新								

平成30年度達成率の評価（上段：当該施策の当年度の目標達成率　下段：当年度の達成率）

	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%	
取組み①		維持管理計画の中で抽出した各施設の設備について、予備機がある等の二重化が図られている設備の把握、事故時・断水時の場内配管ルートの切り替え等の把握に留まり、予防保全策を確立することができなかった。

水道事業ビジョン　フォローアップ

平成30年度	フォローアップNo	14	主要施策②災害等対応計画の作成		
			⑤　災害等予防保全計画		
			２）ハード面での取組み	担当係	管理係

計画目標　２－５０２－２

管路破損における修理材料の充実を図り、あらゆる管種・口径での管路修理に備えます。

具体的な取組み

現在の管布設状況や破損傾向を分析し、被災時に必要となる修理材料の種類・個数を備蓄と調達の観点から確保する体制を構築します。

具体的な取組み	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
①　修理材料確保体制の構築	取組みの継続									

平成30年度達成率の評価（上段：当該施策の当年度の目標達成率　下段：当年度の達成率）

	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%	
取組み①		在庫管理は材料別にできている。

水道事業ビジョン　フォローアップ

平成30年度	フォローアップNo	15	主要施策②災害等対応計画の作成		
			⑤　災害等予防保全計画		
			２）ハード面での取組み	担当係	ﾋﾞｼﾞｮﾝ係

計画目標　２－５０２－３

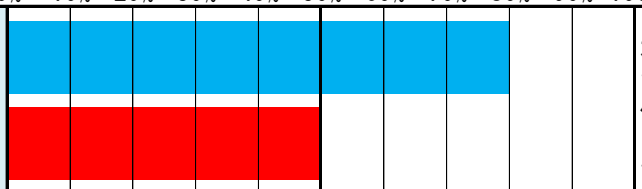
ペットボトル水『ひかりの水』の適正な備蓄本数を検討し、災害への備えを充実させます。

具体的な取組み

毎年度作製しているペットボトル水について、応急給水計画を踏まえた光市水道事業における適正な備蓄本数を検討し、被災時に有効に活用するための体制を構築します。

具体的な取組み	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
① ペットボトル水運用の充実	検討	運用・見直し								

平成30年度達成率の評価（上段：当該施策の当年度の目標達成率　下段：当年度の達成率）

	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%	
取組み①		ペットボトル水『ひかりの水』を過不足なく確保するための取組みについては概ね達成できたが、予定していた他の計画との連携や反映に至っていないため、80%の目標に到達できなかった。

水道事業ビジョン　フォローアップ

平成30年度	フォローアップNo	16	主要施策②災害等対応計画の作成		
			⑥　災害等応急復旧計画		
			１）応急給水計画	担当係	管理係

計画目標　２－６０１－１

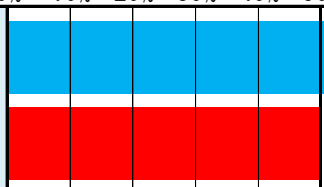
あらゆる災害を想定したうえで給水拠点や応急給水方法を設定し、効率的な応急給水を行います。

具体的な取組み

災害拠点や施設ごとに応急給水方法を選定するとともに、人員配置やバックアップ体制を再構築し、お客様への周知方法の確立及び効率的な応急給水計画を策定します。

具体的な取組み	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
①　応急給水計画の策定	策定		見直し･検討							

平成30年度達成率の評価（上段：当該施策の当年度の目標達成率　下段：当年度の達成率）

	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%	
取組み①		光市水道局災害対応マニュアルによる応急給水場所の策定。

水道事業ビジョン　フォローアップ

平成30年度	フォローアップNo	17	主要施策②災害等対応計画の作成		
			⑥　災害等応急復旧計画		
			２）管路応急復旧計画	担当係	管理係

計画目標　２－６０２－１

被災した際の管路破損状況を迅速に収集する体制と各関係団体との連携を強化し、断水の早期収束を目指します。

具体的な取組み

管路被害状況確認後応急復旧方針を速やかに決定し、管工事組合や関係団体と連携することにより、最大規模の被害時においても最長30日以内に完全復旧とする体制を作ります。

具体的な取組み	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
①　管路応急復旧計画の策定	協議・確認		策定		見直し・検討					

平成30年度達成率の評価（上段：当該施策の当年度の目標達成率　下段：当年度の達成率）

	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%	
取組み①		光市水道局災害対策マニュアル作成中。

水道事業ビジョン　フォローアップ

平成30年度	フォローアップNo	18	主要施策②災害等対応計画の作成		
			⑥　災害等応急復旧計画		
			３）浄水施設等応急復旧計画	担当係	浄水係

計画目標　２－６０３－１

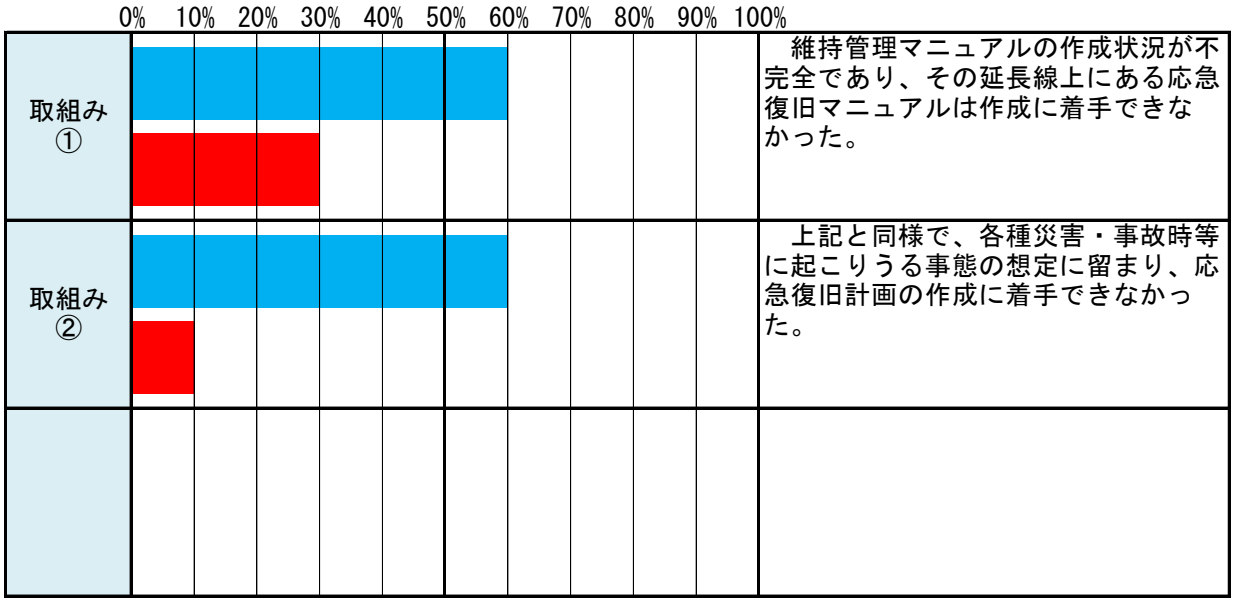
浄水施設の事故・故障時の復旧マニュアルの整備を行い、非常時に応急処置と迅速な復旧が可能な体制を構築します。

具体的な取組み

各種事故マニュアルの整備と対応記録簿を充実させることにより応急復旧体制を強化し、対応記録簿を各種マニュアルや施設台帳等へ反映できる仕組みを構築します。

具体的な取組み	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
① 応急復旧マニュアルの整備	情報整理	作成	見直し･更新							
② 浄水施設等応急復旧計画の策定	情報整理	作成	見直し･更新							

平成30年度達成率の評価（上段：当該施策の当年度の目標達成率　下段：当年度の達成率）



取組み①	維持管理マニュアルの作成状況が不完全であり、その延長線上にある応急復旧マニュアルは作成に着手できなかった。
取組み②	上記と同様で、各種災害・事故時等に起こりうる事態の想定に留まり、応急復旧計画の作成に着手できなかった。

水道事業ビジョン　フォローアップ

平成30年度	フォローアップNo	19	主要施策②災害等対応計画の作成		
			⑥　災害等応急復旧計画		
			３）浄水施設等応急復旧計画	担当係	浄水係

計画目標　２－６０３－２

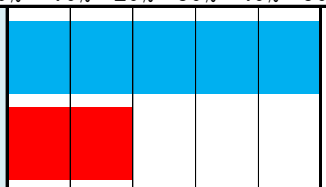
災害事故時においても安定給水を行うための資機材等を備えます。

具体的な取組み

災害や事故等の非常時に必要となる資機材の調達について、民間事業者との連携体制を確立します。

具体的な取組み	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
①　資機材・薬品等の確保、調達方法の確立	情報整理	協定締結	見直し･更新							

平成30年度達成率の評価（上段：当該施策の当年度の目標達成率　下段：当年度の達成率）

	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%	
取組み①		消毒用薬品、凝集用薬品の日常の消費量の把握に留まり、非常時等を想定した、必要貯蔵量等の把握の算定、調達可能な業者リストの作成も着手できなかった。

水道事業ビジョン　フォローアップ

平成30年度	フォローアップNo	20	主要施策③水安全計画の作成		
			⑦　水安全計画		
			１）水源・浄水過程における水安全計画	担当係	浄水係

計画目標　３－７０１－１

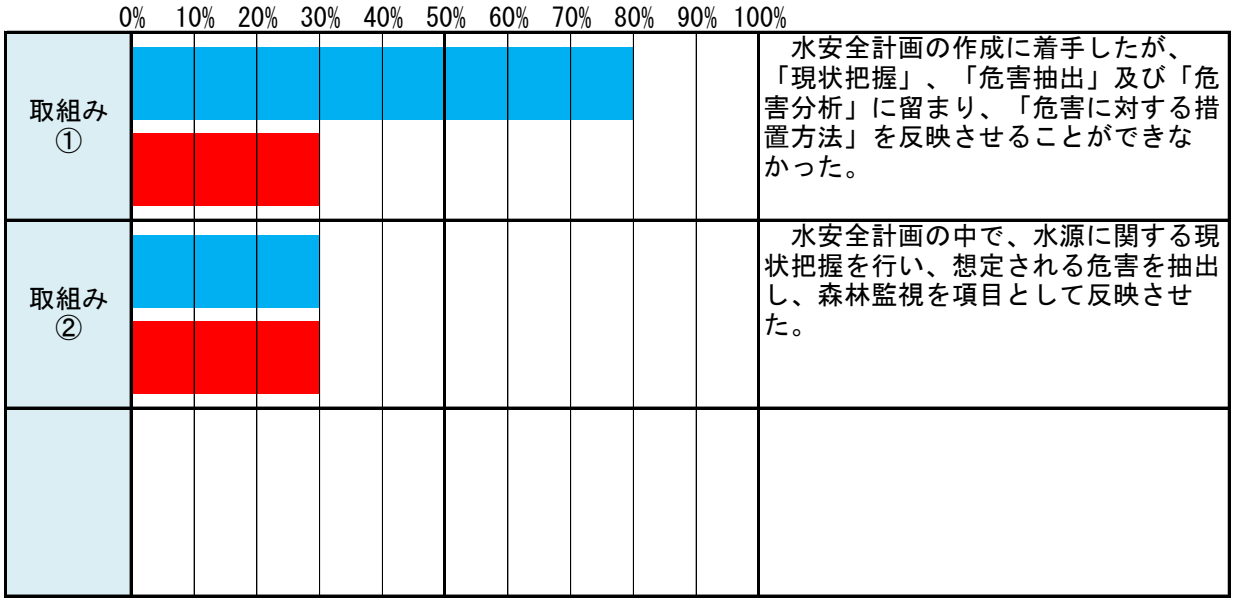
水源から浄水過程において存在する、水質に関する危害を抽出・特定し、これらを監視制御する内容を反映した、光市水道事業に適した水安全計画を策定します。

具体的な取組み

抽出した危害要因についての管理措置、監視・制御方法を定め、携わる職員が継続して実施するための管理基準と管理措置マニュアルを作成します。

具体的な取組み	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
①　（浄水部門）水安全計画の策定	作成	見直し･更新								
②　流域森林状況の監視体制の確立	情報整理	方針決定	体制確立	調査実施	把握･評価				調査実施	調査実

平成30年度達成率の評価（上段：当該施策の当年度の目標達成率　下段：当年度の達成率）



取組み①	水安全計画の作成に着手したが、「現状把握」、「危害抽出」及び「危害分析」に留まり、「危害に対する措置方法」を反映させることができなかった。
取組み②	水安全計画の中で、水源に関する現状把握を行い、想定される危害を抽出し、森林監視を項目として反映させた。

水道事業ビジョン　フォローアップ

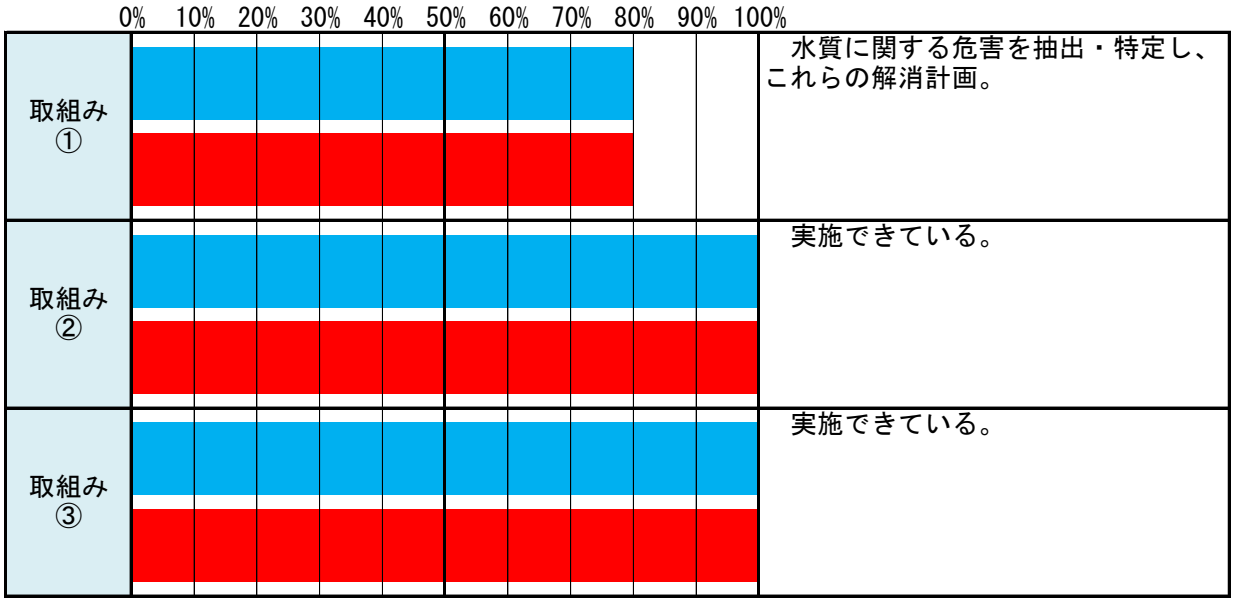
平成30年度	フォローアップNo	21	主要施策③水安全計画の作成		
			⑦　水安全計画		
			２）送水・配水・給水過程における水安全計画	担当係	管理係

計画目標　３－７０２－１

送水から給水過程で存在する、水質に関する危害を抽出・特定し、これらの管理・措置を継続的に実施するための水安全計画を策定します。

具体的な取組み

いつでも安心して水を使っていただくための取組みを充実させ、蛇口から出る水の水質と安全性を高めます。

具体的な取組み	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
①　（送配水部門）水安全計画の策定	作成	見直し･更新								
②　水道管内リフレッシュ大作戦の実施	取組みの継続									
③　小規模貯水槽設置者への適切な指導	取組みの継続									

平成30年度達成率の評価（上段：当該施策の当年度の目標達成率　下段：当年度の達成率）